

「令和6年度全国学力・学習状況調査」結果について

4月、第3学年で実施した「令和6年度全国学力・学習状況調査」について、教科ごとにその結果の分析や課題、課題解決のための具体的な方策及び生徒質問紙の結果（一部抜粋）をお伝えします。

【国語】

(1) 現状

① 観点ごと

評価の観点の平均正答率は、「知識・技能」においては59.2%と全国より2.8%低く、東京都より5.2%低い。「思考・判断・表現」は54.7%で全国より0.7%低く東京都より3.9%低い。

② 内容別

学習指導要領の内容の平均正答率は、「知識・技能」では「我が国の言語文化に関する事項」が77.1%と全国より1.5%、東京都よりも1.4%高い。しかし、「言葉の特徴や使い方に関する事項」では54.9%と全国より4.3%、東京都より6.7%低い。「思考・判断・表現」においては「書くこと」では66.7%と全国より1.4%高く、東京都より1.2%と低い。

(2) 課題

目的や意図に応じて集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることはできている。しかし、自分の文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することに課題がある。

(3) 課題解決のための具体的な方策

年間を通して文章の読解力を向上させるために文章にあった読み方や、要点の押さえ方を授業中にワークシート等を使用して指導していく。また、図の効果や意図等について考え意見を交流させ、考えを広げさせる指導を行っていく。

分類		区分	平均正答率 (%)		
			本校	東京都	全国
		全体	57	61	58.1
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	54.9	61.6	59.2
		(2) 情報の扱い方に関する事項	56.8	62.9	59.6
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	77.1	75.7	75.6
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	62.2	62.9	58.8
		B 書くこと	66.7	67.9	65.3
		C 読むこと	43.2	50.8	47.9
評価の観点		知識・技能	59.2	64.4	62.0
		思考・判断・表現	54.7	58.6	55.4
		主体的に学習に取り組む態度			

【数学】

(1) 現状

① 観点ごと

評価の観点の平均正答率は、「知識・技能」においては61.0%で、全国より2.1%低く、東京都より6.3%低い。「思考・判断・表現」においては26.0%で全国より3.3%低く、東京都より8.2%低い。

② 内容別

学習指導要領の領域の平均正答率は、「A数と式」は48.5%で、全国より2.6%低く、東京都より7.7%低い。「B図形」は37.2%で、全国より3.1%低く、東京都より9.3%低い。「C関数」は60.2%で、全国より0.5%低く、東京都より3.3%低い。「Dデータの活用」は51.6%で、全国より3.9%低く、東京都より7.5%低い。

(2) 課題

図形の領域での正答率が低く、無解答率も高い。図形の領域の中でも筋道を立てて考え、証明する問題の正答率が特に低い。証明を理解するための基本的な図形の知識が定着していないことや、図形の性質を論理的に説明する力が身に付いていないことが課題である。

また、数学的な表現を用いて説明する問題において無解答率が高く、このことも課題である。

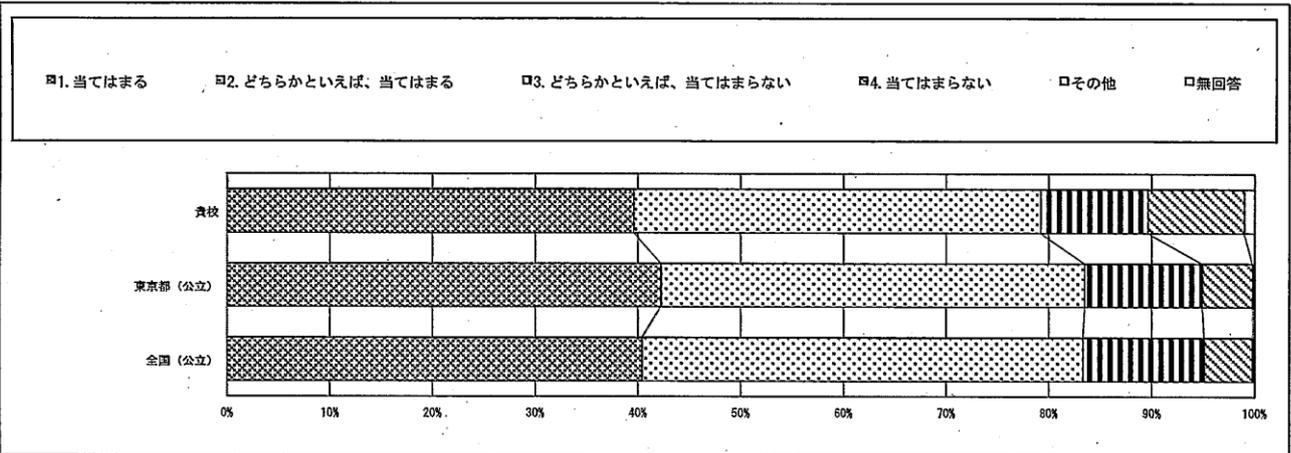
(3) 課題解決のための具体的な方策

証明指導では、図形の定義や定理の小テストを実施し、基本的内容を定着させていく。さらに、タブレット機器を使った学習教材を利用し、証明の基本となる問題を穴埋め形式で反復していくことで、証明の流れを身に付けられるように演習の時間を確保する。これらの方策に取り組んでいくことで、図形領域での学力向上を進めていく。また、数学的な表現を用いて説明する力を高めるために、授業内で考えた理由を発表させ説明させる場面を増やしていく。その際、既習の数学的表現を用いて説明していくことを伝え、曖昧な表現のときはその都度指摘し、修正を図らせ、数学的な表現が定着していく指導を行う。

分類	区分	平均正答率 (%)		
		本校	東京都	全国
	全体	50	57	52.5
学習指導要領の領域	A 数と式	48.5	56.2	51.1
	B 図形	37.2	46.5	40.3
	C 関数	60.2	63.5	60.7
	D データの活用	51.6	59.1	55.5
評価の観点	知識・技能	61.0	67.3	63.1
	思考・判断・表現	26.0	34.2	29.3
	主体的に学習に取り組む態度			

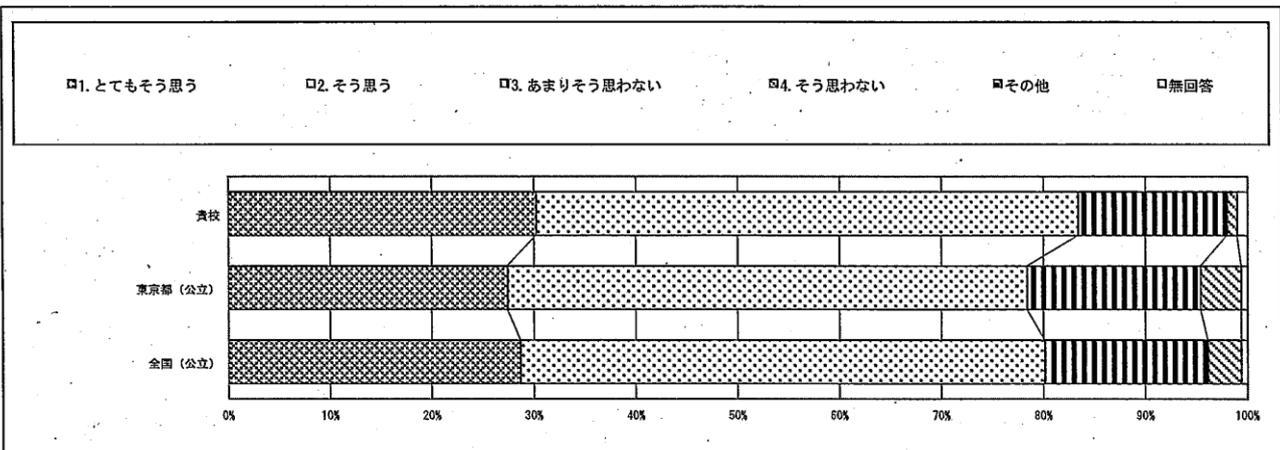
【生徒質問紙】（一部抜粋）

質問番号（9）	自分には、よいところがあると思いますか					
選択肢	1	2	3	4	その他	無回答
本校	39.6	39.6	10.4	9.4	0.0	1.0
東京都（公立）	42.2	41.2	11.4	4.9	0.0	0.2
全国（公立）	40.4	42.9	11.8	4.7	0.0	0.2



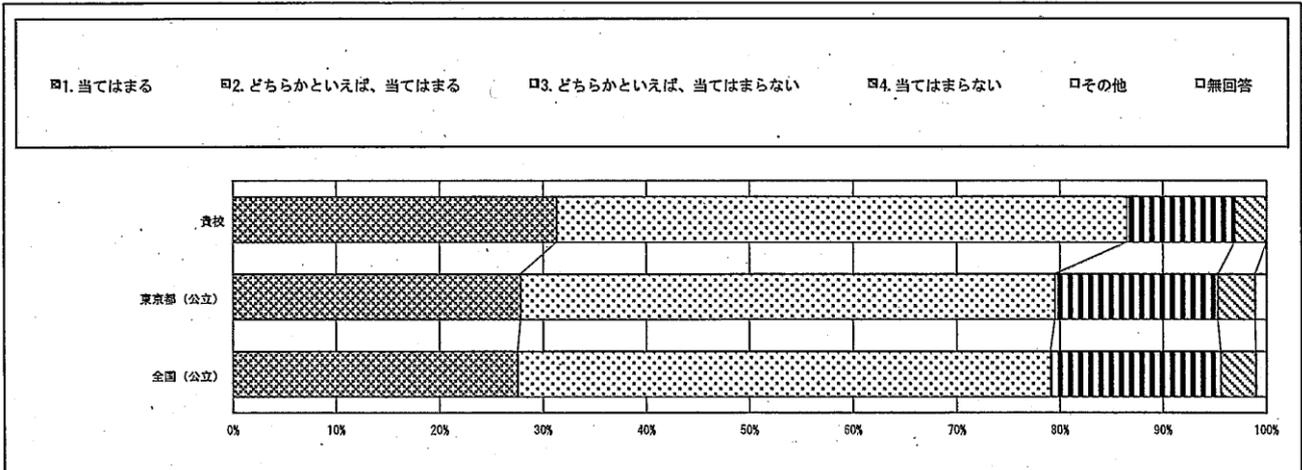
* 肯定評価（1と2の合計）について、昨年度と比較すると本校の結果は今年度とほぼ変わらなかったが、今年度のみでは東京都及び全国から比較すると下回っている。今後もさらに生徒一人一人のよい面を引き出し、褒め、自信をつけさせ、自己肯定感を高めていく指導を心がけていきます。

質問番号 （28-1）	1、2年生のときの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。自分のペースで理解しながら学習を進めることができる					
選択肢	1	2	3	4	その他	無回答
本校	30.2	53.1	14.6	1.0	0.0	1.0
東京都（公立）	27.4	51.0	17.0	4.0	0.0	0.6
全国（公立）	28.7	51.5	16.0	3.3	0.0	0.6



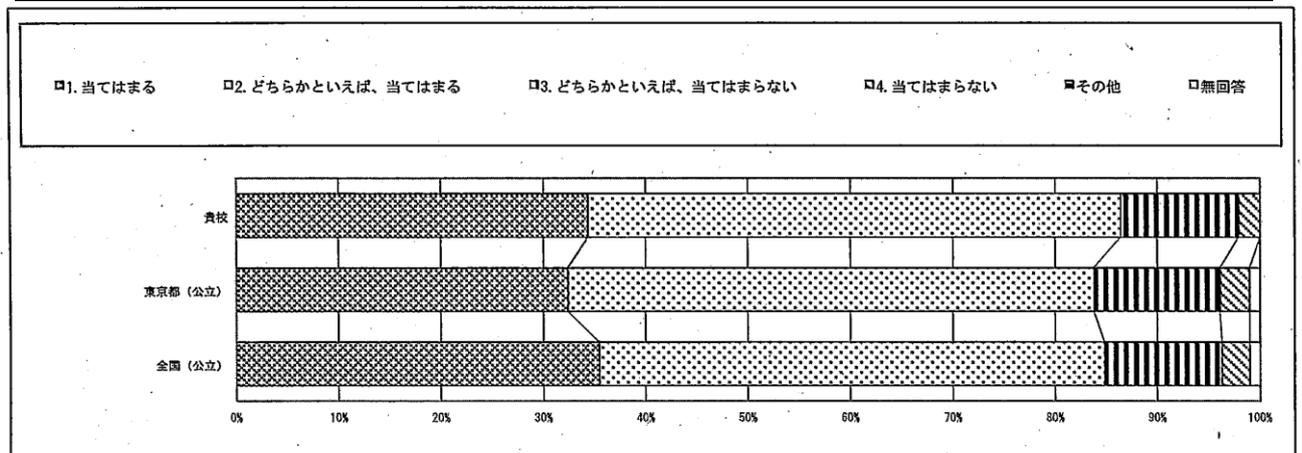
* 肯定評価は、東京都より4.9%、全国より3.1%上回っている。個別最適な学びの充実に向けて、今後も授業や家庭学習におけるタブレットの有効活用を推進し、生徒自ら主体的に学習に取り組む態度を育成していきます。

質問番号 (35)	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか					
選択肢	1	2	3	4	その他	無回答
本校	31.3	55.2	10.4	3.1	0.0	0.0
東京都(公立)	27.8	51.7	15.8	3.6	0.0	1.1
全国(公立)	27.5	51.5	16.5	3.4	0.0	1.0



* 肯定評価は、東京都 79.5%、全国 79%に対し、本校は 86.5%であり、7%強上回っている。学びの連続性と実生活への応用はこれからの社会において今まで以上に重要性をもつと考えられます。今後も授業での学びを次に繋げていける生徒の育成を目指していきます。

質問番号 (36)	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか					
選択肢	1	2	3	4	その他	無回答
本校	34.4	52.1	11.5	2.1	0.0	0.0
東京都(公立)	32.4	51.4	12.3	2.9	0.0	1.0
全国(公立)	35.5	49.4	11.5	2.7	0.0	1.0



* 肯定評価は、東京都 83.8%、全国 84.9%に対し、本校は 86.5%であり、何れも上回っている。「当てはまる」については、全国より 1.1%下回っている。今後は、「当てはまる」が全国を上回るよう、個に応じた丁寧で細かい指導及び助言を推進していきます。